

2023年度（2023年4月1日—2024年3月31日）

# 事業報告

公益財団法人 社会医学研究センター

## 目次

### I 公益目的事業

1. 労働と生活、健康に関する調査・研究・相談及び啓発事業 [公益目的事業1]
  - (1) 講座・シンポジウム関連事業 [公1(1)]
    - ① 講座・シンポジウムの開催
    - ② 定例研究会の開催
    - ③ 教育研修活動（講師派遣）
  - (2) 統計・資料収集事業 [公1(2)]
    - ① 季刊誌「労働と医学」の定期発行
    - ② 月刊誌「ニュース働くものの健康」
  - (3) 相談・助言事業 [公1(3)]
    - ① 相談活動
    - ② 過労死防止ドクターズネット

### II 収益事業

1. 土地建物賃貸事業 [収益事業1]
2. 書籍販売事業 [収益事業2]

### III その他の事業 [相互扶助事業]

1. 調査研究事業 [その他の事業1]

### IV 管理部門

1. 会員
2. 理事会・評議員会等

# I 公益目的事業

1. 労働と生活、健康に関する調査・研究・相談及び啓発事業 [公益目的事業 1]
  - (1) 講座・シンポジウム開催事業 [公 1 (1)]

## ①講座・シンポジウムの開催

「学校の労安活動」の交流会を6月と11月の2回開催した。

12月に一般社団法人労働運動総合研究所（略称：労働総研）の「労働時間健康問題共同研究会」に協賛して共同して公開研究会を開催した。

労働局認可による「衛生推進者登録講習機関」として「衛生推進者講習」を東京都と愛知県で開催した。

代表理事、理事が研究会・研究集会報告、講師活動を行った。（各理事活動報告参照）

2023年6月11日 第5回学校の労安活動交流会

「産業医から見た教職員労働の現状と課題、産業医の役割」阿部眞雄（産業医）

「埼玉の教員の働き方改革」杉本正男（産業カウンセラー・衛生推進者講習講師）

2023年6月23日 労働時間健康問題共同研究会

「全教教職員勤務実態調査2022」村上剛志理事

「教職員の労働時間、健康、働き方」杉本正男（衛生推進者講習講師）

2023年8月5日 第3回衛生推進者講習（愛知健康センター）

講師 宮尾克（愛知健康センター副理事長） 平松晃（同 相談役）

2023年8月31日 第4回衛生推進者講習（東京土建）

講師 加藤雅章（中央労働災害防止協会） 大里総一郎理事 村上剛志理事

2023年9月30日 メンタルヘルス・過労死労災センター静岡研究会

「ともに考える職場のメンタルヘルス対策」

講師 天笠 崇代表理事

2023年10月5日 労働法制中央連絡会総会

「健康で人間らしく働き生きる労働時間短縮と労働安全衛生」 佐々木昭三理事

2023年11月12日 第6回学校の労安活動全国交流会

「先生を死なせない 教師の過労死を繰り返さないために、今できること」

講師 工藤祥子（神奈川過労死等考える家族の会） 4つの分科会

2023年12月1日 公開労働時間健康問題共同研究会

「いのちと健康を守り人間らしく働くルール確立をめざす労働時間短縮」

佐々木昭三理事

「教員の働き方と労働時間・健康、労働安全衛生」 杉本正男（衛生推進者講習講師）

2024年1月20・21日 第56回全国保健師活動研究集会

「働く人たちの健康問題を考える」 佐々木昭三理事

「健康社会建設をめざして保健師に求められるもの」 服部 真理事

### ③ 定例研究会の開催

公開の定例研究会は10回開催した。各回のテーマは下記の通り

2023年5月18日「過労死と過労自殺の分析」

報告者：社医研センター代表理事 天笠 崇

2023年6月22日 「産業衛生学会、戦争と医の倫理シンポ」

報告者：社医研センター理事 門田 裕志

2023年7月20日 「学校の労安活動交流集会、勤務実態調査給特法」

報告者：社医研センター理事 大里 総一郎

2023年9月14日 「精神障害労災認定基準改定」

報告者：社医研センター理事 村上 剛志

2023年10月26日 「第64回社会医学会総会 次世代のための社会医学」

報告者：社医研センター理事 門田裕志

2023年11月16日 「労働法制中央連絡会講演 労働時間短縮と労働安全衛生」

報告者：社医研センター理事 佐々木昭三

2023年12月21日 「学校の労安全全国学習交流会報告」

報告者：社医研センター理事 大里総一郎

2024年1月25日 「過労死等防止対策白書」（10月13日公表）と過労死啓蒙月間

報告者：社医研センター理事 門田裕志

「過労死防止月間講演のコメント」社医研センター代表理事 天笠崇

2024年2月15日 首都圏土建労組の労災職業病の運動（社医研ニュース訪問取材をして）

報告者：社医研センター理事 村上剛志

2024年3月14日 「働くものの健康問題」～非正規雇用者、フリーランス、中小商工業者、農民（自治体保健師集会報告）

報告者：社医研センター理事 佐々木昭三

### ④ 教育研修活動（講師派遣・執筆活動など）

2023年度は労働と生活、健康に関する学習会、過労死等防止シンポジウム等に講師派遣を行った。(以下理事の活動報告)

公益財団法人社会医学研究センター

## 2023年度「役員活動報告書」(服部真)

報告対象期間 2023年4月1日～2024年3月31日

報告内容 社医研の事業に関連した下記の事項

### ①講師活動(講演日・集会名・講演名)

2023年4月4日 富山村田製作所新入社員研修 健康管理

2023年6月25日 石川県医師会認定産業医実地研修 360度画像で巡視

2023年6月29日 同上(受講者が別)

2023年7月30日 第64回日本社会医学会 病院勤務医と専属産業医兼業二刀流の勧め

2024年1月21日 第65回全国保健師活動研究集会 健康社会建設をめざして

公益財団法人社会医学研究センター

## 2023年度「役員活動報告書」

報告対象期間 2023年4月1日～2024年3月31日

報告内容 社医研の事業に関連した下記の事項 天笠 崇

### ①講師活動(講演日・集会名・講演名)

・2023年5月14日(日)第28回全司法中央労働学校全司法. @最高裁判所内 15:00～16:30

「メンタルヘルス対策—労働組合の視点から」

・天笠崇. 労働関連精神障害および自殺(過労自殺)(1)(2). 2023年6月28日北里大学医学

部大学院環境医科学群労働衛生学

・天笠崇. 労働関連精神障害および自殺(過労自殺)(3)(4). 2023年7月5日北里大学医学部

大学院環境医科学群労働衛生学

・天笠崇. 生活習慣病の予防. 20230808 東京土建拡大衛生委員会

---

・天笠崇. ハラスメント防止講習. 2023年9月19日合同警備

---

・天笠崇. 構造方程式モデリング(共分散構造分析)超入門@20230928 京大健康情報学 SEM

---

入門セミナー11:30~12:30(講義 40分)

---

・天笠崇. ともに考える職場のメンタルヘルス対策. 20230930 第2回メンタルヘルス・過労死等

---

労災センター第2回・静岡研究会 15:10-16:30@静岡社会健康医学大学院大学

---

・天笠崇. 過労死・過労自殺予防のための法令順守のために. 2023年11月6日厚生労働省過労

---

労働省過労死防止推進啓発シンポジウム(埼玉会場)

---

・天笠崇. 職場のメンタルヘルス対策 早めの気づきと早めの対処を超えて. 2023年11月7日厚生

---

労働省過労死防止推進啓発シンポジウム(静岡会場)

---

・天笠崇. 「過労自殺」や労働関連精神疾患のケースに学ぶ. 20231111いの健いわて県センター

---

「過労死をなくすつどい」@盛岡市勤労福祉会館 5階 大会議室 13時5~10分の90分講演

---

・天笠崇. ハラスメントからくる労働関連疾患をなくすために. 2023年11月30日厚生労働省過労死

---

労働省過労死防止推進啓発シンポジウム(石川会場)

---

・天笠崇. 産業医のちからメンタルヘルス対策をいかに社会実装するか. 令和6年1月31日

---

19:00~21:00 流山市医師会、日本医師会定産業医制度産業医学研修会@流山市保健センター

---

・天笠崇. 認知行動 SST を学ぶ. 20231203 (日)倉敷市芸文館第2会場(1F アイシアター)9:00~

---

10:30、精リハ学会第30回岡山大会研修セミナー(研修委員会枠)

---

②雑誌・新聞等への執筆、投稿(掲載日・雑誌名・テーマ)

---

20230505 特集 新入社員・職員に声かけて心の不調の早期発見を精神科専門医・天笠崇さん

---

( 連合通信社 山本美奈子記者. )

---

③学会等への発表(開催日・学会名・演題名)

座長:天笠崇. 先達に聞く 安西信雄先生. 2023年7月16日、SST普及協会第28回経験交流ワー

クショップ in 名古屋、名古屋国際会議場

天笠崇他. 精神疾患を持つ人々の社会生活目標達成のために ICF(国際生活機能分類)モデル

準拠「強みと弱さ評価尺度」の調査から. 2023年12月17日、第27回SST普及協会学術集会

④出版(発刊日・著書名・出版社名)

天笠崇. とともに考える職場のメンタルヘルス対策. 労働と医学 No.160、5-16

天笠崇. 新人介護スタッフによくある悩み。リーダーとしてできるサポートとは？ 2024年2月27日

<https://pro.kao.com/jp/medical-kaigo/topics/professional-care/20240227/>

⑤その他、特記すべきこと(例:労災意見書の作成)

2023年5月1日毎日放送「映像'23 困難に挑む～弁護士水野幹男 82歳～」、映像出演

2023年11月15日NHKクローズアップ現代「シリーズ働き方を考える」、スタジオ出演

2023年12月2日NHKおはよう日本、映像出演

過労死防止学会誌編集委員長

労働関連精神疾患および自殺の労災請求、行政訴訟、民事訴訟の際の医師意見書・鑑定書

11 事案

講演活動(小池昭夫)

2023年12月7日ふれあい生協病院  
キルギス共和国からの医療視察団に対する講演  
「ふれあい生協病院の健診事業」  
2024年1月22日  
働くもののいのちと健康を守る埼玉センター理事会

「ふれあい生協病院の健診事業」

社医研センター 2023 年度 活動報告 (村上剛志)

1. ニュース「働くものの健康」編集作業  
毎月 10 日発行を順守 511 号～522 号  
団体紹介で労働組合のなどを訪問  
全日本年金者組合、中央労働災害防止協会、婦人民主クラブ  
日本クロージャー、福島原発汚染水海洋放出問題  
子どもの権利・教育・文化全国センター、医師の過労死家族の会  
立川相互病院、石綿被害者支援の会
2. 「労働と医学」季刊誌編集発行  
No.157 特集 精神障害労災補償・専門検討会報告資料集  
No.158 特集 第 5 回 学校の労安活動交流集会  
No.159 特集 精神障害の労災認定の基準に関する専門検討会報告書 (2023 年版)  
No.160 特集 とともに考える職場のメンタルヘルス対策
3. 講演活動  
7 月 24 日 都教組 安全衛生活動  
11 月 22 日 手話通訳者の健康講座 (足立区)  
12 月 17 日 手話通訳者の健康フォーラム (オンライン)  
12 月 20 日 東京自治労連 保育士の安全衛生活動

講師活動の報告 (大里総一郎)

- 1 月 27 日、埼教組労安連続講座  
「学校のパワーハラについて」
- 2 月 12 日、都教組いの健学習会  
「職場の労安活動、ゼロから立ち上げる」○2 月 26 日、学校の労安活動交流会実行委員会  
「プレ講座、学校の安全衛生活動について」

公益財団法人社会医学研究センター

2023 年度「役員活動報告書」

報告対象期間 2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

報告内容

## 社医研の事業に関連した下記の事項

報告者名 佐々木 昭三

### ① 講師活動（講演日・集会名・講演名）

働くもののいのちと健康を守る福岡地区連絡会総会講演 2023/4/25  
いのちと心身の健康を守る労働安全衛生～ハラスメントと過重労働をなくすために  
働くもののいのちと健康を守る和歌山県センター総会講演 2023/6/1  
労働者の健康と人間らしく働ける職場づくりのための労働組合の役割  
いのちと健康を守る長野センター総会講演 2023/6/3  
心身の健康を守る職場で誰でもできる労働安全衛生活動と労働組合の役割  
～いのちと心身の健康を守る労働安全衛生とハラスメントと過重労働をなくすために  
労働法制中央連絡会総会講演 2023/10/5  
いのちと健康を守る労働安全衛生と国際労働基準の活用  
―1日所定労働時間7時間と労働組合の労働安全衛生活動  
生協労連いのちの健対策委員会学習会 2023/11/12  
労働安全衛生活動の基本と労働組合の役割  
労働運動総合研究所労働時間健康問題共同研究会公開研究会報告 2023/11/12  
いのちと健康を守る労働安全衛生と労働時間短縮の意義、国際労働基準の活用  
―健康で人間らしく生き働くためのルール確立めざして  
生協労連いのちの健対策委員会学習会講演 2024/1/14  
労働者のいのちと健康を守る当面する情勢と労働安全衛生活動  
第56回全国保健師活動研究集会 基礎講座第1講義 2024/1/20  
働く人たちの健康問題を考える  
～地域住民の家庭と労働・生活、業者・農林漁業の人たちの健康はどうなっているか  
～非正規雇用労働者（派遣労働者、パート、有期雇用、アルバイト、委託など）の問題  
生協労連いのちの健対策委員会学習会講演 2024/3/3  
労働安全衛生活動と2024年問題・高齢労働者・ハラスメント  
社会医学研究センター定例研究会報告 2024/3/14  
全国保健師活動研究集会働く人たちの健康問題を考える

### ② 雑誌・新聞等への執筆、投稿（掲載日・雑誌名・テーマ）

社医研ニュース5月号 2023年5月  
定例研究会 全教の教職員勤務実態調査2022  
社医研ニュース6月号 2023年6月  
定例研究会 過労死と過労自殺の分析



社医研ニュース7月号 2023年7月  
定例研究会 教職員の労働時間、健康、働き方（労働時間健康問題研究会報告討論）  
社医研ニュース8月号 2023年8月  
定例研究会 産業衛生学会、戦争と医の倫理シンポ  
労働総研ニュース9月号  
労働時間健康問題共同研究会活動報告アニュアルレポート 2023年9月  
・労働時間健康問題共同研究会この1年間の活動報告  
社医研ニュース11月号 2023年11月  
定例研究会 精神障害労災認定基準検討会報告書  
いの健全国センター通信11月号 2023年11月  
・法令・指針の順守は予防効果あり～第2回静岡研究会  
社医研ニュース12月号 2023年12月  
定例研究会 日本社会医学会総会「次世代のための社会医学」  
社医研ニュース 1月号 2024年1月  
第2回メンタルヘルス・過労死労災センター静岡研究会  
社医研ニュース 2月号 2024年2月  
定例研究会 学校の労安活動全国交流集会  
「労働と医学」160号 2024年2月  
・いのちと健康を守る労働安全衛生と労働時間短縮の意義、国際労働基準の活用  
ー健康で人間らしく働き働くためのルール確立めざして  
勤通大労組コース通信1号 2024年2月  
・テキストの内容の特徴と勤通大で学ぶこと  
・第2章 労働者と労働組合の権利のポイント  
労働総研ニュース1・2月号 公開労働時間健康問題共同研究会報告 2024年2月  
・いのちと健康を守り人間らしく働くルール確立をめざす労働時間短縮  
ー労働時間の意義と定労働時間7時間・1日8時間労働制の確立  
全国保健師活動研究会活動研究集会報告集 2024年2月  
・働く人たちの健康問題を考える（講演とグループワーク）  
赤旗日曜版 2024年2月  
・ダイハツの不正問題  
社医研ニュース 3月号 2024年3月  
定例研究会 過労死等防止対策白書  
前衛5月号 2024年3月  
「世界一トヨタ」の社会的責任とグループ企業不正問題  
赤旗日曜版 2024年3月  
・日産の下請け単価削減強要問題

③ 出版（発刊日・著書名・出版社名）

コロナ禍の健康への影響、今後の公衆衛生と保健師活動の課題、労働者の健康問題  
（共著 萌萌文社 2023年6月）

（2）統計・資料収集事業 [公1（2）]

①季刊誌「労働と医学」の定期発行

・編集委員

村上 剛志・門田 裕志・佐々木 昭三・大里 総一郎・加藤 豊

No.157—160まで4巻を発行した。各巻の内容は下記の通り

季刊誌「労働と医学」の定期発行

No.157 特集 精神障害労災補償・専門検討会報告資料集（2023年）

資料 過労死等防止対策白書（令和4年版年次報告）

2022年版労災補償の動向

専門検討会 第12回の論点

団体からの意見要望 過労死弁護団全国連絡会議 精神障害検討班

いのちと健康を守る全国センター

No.158 特集 第5回 学校の労安活動交流集会

インタビュー 誰もが安心して生活できる年金制度へ

全日本年金者組合の廣岡副委員長

資料 全教「教職員勤務実態調査」

講演 産業医から見た教職員の労働の現状と課題—産業医の役割 阿部眞雄

働き方改革の現状と課題

—働き方改革通知を活用して具体的な改善を進めよう 杉本正男

報告 学校のローアン活動の新たな展開と発展 村上剛志

No.159 特集 精神障害の労災認定の基準に関する専門検討会報告書（2023年版）

インタビュー インボイス制度問題に取り組む日本音楽家ユニオン代表委員の土屋学さん

資料 厚生労働省「精神障害の労災認定の基準に関する専門検討会報告書」

令和5年7月 厚生労働省専門検討会

資料 過労死等防止対策推進協議会議事録（令和5年5月30日）

労働基準局総務課（過労死等防止対策推進室）

No.160 特集 とともに考える職場のメンタルヘルス対策

寄稿 岩手県石綿被害者の会「管理4」をかちとる 松館 寛

基調報告 ともに考える職場のメンタルヘルス対策 天笠 崇

いのちと健康を守る労働安全衛生と労働時間短縮の意義、国際労働基準の活用

佐々木昭三

特別報告 東電福島第一原発の汚染水の海洋放出はしてはならない 渡辺敦雄

緊急レポート 羽田空港・日本航空旅客機と海上保安庁航空機の衝突事故 編集部

特別報告 「人間らしい労働時間」を求めて ジョン・C・メッセンジャー

②月刊誌「ニュース働くものの健康」の定期発行（毎月10日発行499号～510号）

・編集委員

村上剛志・門田 裕志・大里 総一郎・森 陽子・鮫島 敏明・加藤 豊・丹野 典子

以下の内容で511号から522号まで12号を毎月発行した。

月刊誌「ニュース働くものの健康」の定期発行（毎月10日発行511号～522号）

511号 2023年4月発行

アスベスト訴訟・建材メーカーに解決求める提訴行動・裁判に取り組む/入社2年目 製造メーカー青年社員の自殺で損害賠償請求裁判が2月20日に開かれる/全日本教職員組合が3月21日長時間労働解消でシンポジウムを開催/新型コロナウイルス、「2類から5類の変更」ワクチンの副反応と後遺症について/千葉土建船橋習志野支部建材企業を相手に全国で一斉訴訟・4陣訴訟に参加建材企業を相手に全国で一斉訴訟・4陣訴訟に参加/陸自II尉が長時間超過勤務で自殺したのは国の責任と、損害賠償命令 大津地裁「支援なく疲弊」と断罪し、7800万円の賠償を命じる/本質安全化Q&A203 アスベスト対策 一人親方を保護対象へ/厚労省・第14次労働災害防止計画「死亡5%減少・死傷は令和8年までに減少へ」

512号 2023年5月発行

4月8日「JAL解雇争議解決報告集会」開催 12年を経て新たなスタートそして未来へ/12年を経て「新たなスタート、そして未来へ」 2023年4月8日JAL解雇争議解決報告集会/社医研センター「定例研究会」3月23日に開催 全教の教職員勤務実態調査2022の報告/5月8日から新型コロナウイルス「2類から5類へ変更」 6回目のワクチン接種5月から始まる/千葉土建八街支部 建材メーカーの責任を迫る4陣訴訟に参加 結成28年、現在5分会1030人の組織に発展/私学教員の残業代未払いに労基署からの是正勧告続く 定額の調整手当は無効、部活動も労働時間の対象 公立では残業代は認められず、給特法の矛盾鮮明に/本質安全化Q&A203 令和4年死亡災害発生状況まとまる/令和3年 年休取得率58.3%

513号 2023年6月発行

社医研センターが愛知労働局の「衛生推進者講習」の登録を更新/インボイス制度 日本商工会議所が導入は延期すべきと提言/社医研センター第157回定例研究会、5月18日 「過労死と過労自殺の分析」で開催/新型コロナウイルス感染症 2023年5月から2類から5類への引き下げに/千葉土建松戸支部 建材企業を相手に全国で一斉訴訟・4陣訴訟に参加 建材メーカー東京訴訟・千葉土建の6支部と連帯/中部電力新入社員の自死の裁判、名古屋高裁で勝訴 新入社員には難易度の高い業務と過重性を認定 上司のパワハラも「指導の範囲を逸脱するもの」と認める/本質安全化 Q&A204 職場の熱中症対策を/7月1日から全国安全週間—高める意識と安全行動—築こうみんなのゼロ災職場

514号 2023年7月発行

6月11日 第5回「学校の労安活動交流会」を開催/6月11日、教職員の労安活動交流会 産業医の役割で講演・働き方改革で交流/労働時間健康問題研究会、6月23日「教職員の労働時間、健康、働き方」で開催/新型コロナウイルス感染状況評価—感染対策アドバイザーボード/神奈川土建一般労働組合 5月14日定期大会開催 3カ年計画を確認 神奈川アスベスト1陣訴訟で、ノザワと和解成立/凸版印刷女性社員の精神疾患が労災認定される 業務量過多で残業増加、サービス残業にするも懲戒処分 在宅勤務のフレックスタイム制不適用は「差別」と認定/本質安全化 Q&A205 第14次労働災害防止計画/厚労省、労働者死傷病報告等の電子申請を原則義務へ

515号 2023年8月発行

理化学研究所が乱暴な雇い止め 研究力が低下、人材流失を加速/夏休み前に2冊紹介 田中角栄著「日本列島改造論」 堤未果「ショック・ドクトリン」/社医研センター第158回定例研究会、6月22日「産業衛生学会、戦争と医の倫理シンポ」で開催/新型コロナウイルス感染症 モニタリング分析(7月20日)/建設アスベスト京都2陣訴訟 関西建設アスベスト京都第3陣6月21日に提訴 2月の京都2陣判決を受け、5人が完全救済へ提訴 /

富山地裁が教員の過労死で市と県に8300万円の賠償命令 部活動指導は勤務時間であり、校長に安全配慮義務違反と認定 53日間で休みが1日、時間外勤務時間95~153時間/本質安全化 Q&A206 精神疾患の労災認定基本改正/令和4年度の石綿疾病労災給付1078件—前年度比増・認定率は低下

516号 2023年9月発行

愛知健康センターが8月5日に第3回の衛生推進者講習を開催/「衛生推進者講習を受講して」 愛知県医労連 近藤直己さん/精神障害の認定基準に関する報告書/厚労省が新型コロナウイルス感染症の「診療の手引き」改訂版を公表 医療従事者の就業制限の要請内容/民放労連が7月29・30日両日に定期大会を開催 結成70周年、放送業界の信頼を守り抜くアピール/電気設備工事現場責任者の胃潰瘍で死亡を、労災認定 富山労基署が長時間労働とストレスによると判断 認定基準や高年齢者の働かされ方の大幅な改善へ/本質安全化 Q&

A207 過労死等防止推進協議会報告/令和 4 年度の人口動態統計月報 出生数・死亡数の動向

517号 2023年10月発行

東京土建が8月31日に 第4回の衛生推進者講習を開催/8月31日、東京土建衛生推進者講習 「労働衛生教育」「労働安全衛生法令」で講義/職と農の危機打開に向けて 一新農業基本法に対する農民連の提言ー/9月20日から第7回目の 新型コロナウイルスのワクチン接種はじまる/新聞労連（日本新聞労働組合連合） 「未来へのブレークスルー」をスローガンに定期大会 若手だけでなく中堅層も含め深刻化している人員確保/神戸の西宮労基署が若手医師の過労自死を労災認定 3カ月間100日連続勤務、直前1か月207時間の時間外労働 「自己研鑽」を業務と認め、医師の働き方改革を/本質安全化 Q&A208 令和4年「労働安全衛生調査」/令和4年度の石綿疾病労災給付請求・支援決定数は前年比増・認定率は低下

518号 2023年11月発行

34回「なくせじん肺キャラバン」 10月23・24日東京集結行動/9月14日社医研センター一定例研究会 「精神障害の認定基準検討会報告書」で開催/9月29日に茨城県庁で高校教員のメンタルヘルス疾患で基金再審査請求審理を開催/新型コロナウイルスとインフルエンザの感染状況/日本マスコミ文化情報労組会議（MIC） 賃上げ・ハラスメント根絶へ、MIC が総会 マスコミ単産の抱える課題や平和運動、表現の自由を交流/アマゾン配達員の個人事業主に対し、横須賀労基署が労災と認定し休業補償給付を支給・偽装フリーランスでも雇用された労働者と判断され、配達員としては初めての労災認定/本質安全化 Q&A209 令和4年「労働安全衛生調査」/令和4年度の労働災害発生状況 死亡災害・休業4日以上死傷災害

519号 2023年12月発行

学校の労安活動全国交流会 11月12日（日）に開催される/「先生を死なせない」 教師の過労死を繰り返さないために、今できること/社医研センター一定例研究会10月26日 日本社会医学会総会「次世代のための社会医学」で開催/11月8日、過労死等防止対策推進シンポジウムが開催/日本医労連 2022年の看護職員の労働実態調査を発表 大幅増員で安全・安心の医療・介護へ/川崎重工の海外赴任技術者の自死で、遺族が1億円の損害賠償裁判を提訴 「要精検査」「条件付き赴任可」の健康状態で、中国語も話せない中、支援もないままに自死 労災認定されるも、謝罪もなく、署名も受け取り拒否の酷い対応の川崎重工/本質安全化 Q&A210 長時間労働が疑われる事業場に対する監督指導/令和5年版 過労死防止対策白書「睡眠不足感大きいほど主観的幸福感低い」と報告

520号 2024年1月発行

いのちと健康を守る全国センターが 12月6日に総会を開催/9月30日、第2回メンタルヘルス・過労死など 労災センター静岡研究会を開催/東京自治労連保育部会が「保育労働者の安全衛生活動」を 11月27日に学習会を開催/おかしなトッパン印刷 マイナンバー

カード受注でトップの464億円/映画演劇共闘 映像3団体が映像制作現場の労働災害防止を提言 インボイス問題ではフリーランスの学習会を開催/厚焼き玉子を製造中・心筋梗塞で死亡した71歳男性に逆転労災認定 労働時間以外の負荷も評価する認定の新基準を適用し、暑さが「強い負荷」と労働保険審査会が判断/本質安全化 Q&A211 令和6年7月の大綱見直しを検討/いの健全国センターの元理事長の福地保馬先生が「労働と健康—ディーセントワークの実現を目指して」を出版

521号 2024年2月発行

じん肺管理区分から2から4の採決かちとる NPO法人石綿被害者支援の会/手話通訳者が安心して働けるために 手話通訳者健康フォーラム/社医研センター定例研究会 12月21日 「学校の労安活動全国学習交流会」の報告で開催/1月2日・羽田空港で 日本航空機と海上保安庁の航空機が衝突/全日本年金者組合 1989年8月30日に結成35年、11万人の組織に発展 人間らしく暮らせる社会の実現をめざして運動を前進/現場監督の清水建設社員の過労自死が労災認定 労働時間の不十分な管理体制下、残業時間数を過少申告 残業が多い建設業界に4月より残業時間規制が適用/本質安全化 Q&A212 長時間労働の事業場の監督指導/令和4年度の過労死等の労災補償状況（脳・心臓疾患）

522号 2024年3月発行

東電福島第1原発の汚染水の海洋放出はしてはならない/「沈めてよいか第五福竜丸」被災70年の3月1日ビキニデーにあたって/社医研センター定例研究会 1月25日 「過労死等防止対策白書」の報告で開催/学校の労安活動全国交流会 11月12日 —工藤祥子さんの講演/全川崎地域労働組合 一人でも入れる労働組合の役割を発揮して12年 人口154万人の川崎で労働者の権利を守るたたかい/フリーカメラマンの通勤中事故を品川労基署が労災認定 フリーランス新法で「労働者性」が認められた意義ある認定/本質安全化 Q&A213 労働の持ち越し頻度増でうつ傾向が増加/令和5年自殺対策白書 令和4年の自殺者は2万1881人・前年比4.2%増

#### (4) 相談・助言事業 [公1 (3)]

##### ①相談活動

2023年度は2022年度から引き続きのものを含めて労災等の相談事業を25件実施した。具体的な内容は下記の通り

- ・労働組合メンタル問題
- ・製造メーカー社員の自殺
- ・航空会社社員のメンタル休職
- ・保育士メンタル問題
- ・アパレル販売員のメンタル休職
- ・放送局のメンタル問題
- ・運送会社社員のメンタル解雇
- ・支援学級措置問題

- ・教員メンタル問題
- ・教員過労死
- ・外資系会社のパワハラ
- ・航空会社社員の依存症
- ・人材派遣会社社員の統合失調症
- ・看護師の化学物質過敏性
- ・放送局のメンタル問題
- ・建設労働者の振動病
- ・工場の安全パトロール
- ・団体職員のパワハラ
- ・化学物質中毒
- ・新聞社社員のメンタル問題
- ・郵産労メンタル問題
- ・化学一般メンタル問題
- ・手話通訳者のメンタル問題
- ・建設労働者の転落事故

#### ②過労死等防止ドクターズネット

2023年度は医師意見書記載の相談があり、1件仲介を行った。

## II 収益事業

### 1. 土地建物賃貸事業〔収益事業1〕

2016年8月より再開した東京都板橋区熊野町47番11号の土地建物での事業を継続している。借主とは月1回の定例協議を開催し、相互コミュニケーションを図っている。

### 2. 書籍販売事業〔収益事業2〕

「働くものの労働安全衛生入門シリーズ」（かもがわ出版発行）を4冊普及した。

## III その他の〔相互扶助事業〕

### 1. 調査研究事業〔その他の事業1〕

(1) 東京土建健診の結果分析

2008年より継続して東京土建国保組合の健康診断約 40,000 件/年の結果の分析を実施している。

2021年度の分析を引き続き実施し、2022年度2023年度の健診データの収集をすすめている。

## IV 管理部門

### 1. 会員

2023年度は賛助会員の入会0件に対して、退会が1件あり、賛助会員総数が1件減であった。

#### ・入会、退会の状況

会員数（2023年4月1日） A 賛助会員（団体）162件 B 賛助会員（個人）37件  
計199件

2023年度入会数 A 賛助会員（団体）1件 B 賛助会員（個人）0件

2023年度退会数 A 賛助会員（団体）1件 B 賛助会員（個人）2件

会員数（2024年3月31日） A 賛助会員（団体）162件 B 賛助会員（個人）35件  
計197件

### 2. 理事会・評議員会等

#### （1）理事会の開催

理事会は下記の内容をもって開催した。

第37回	2023年6月8日	代表理事・業務執行理事の選定 役員業務執行状況報告の承認 2023年度役員活動報告の承認 事業報告書・決算書の承認 定時評議員会の日時及び場所並びに目的事項
第38回	2023年11月16日	役員業務執行状況報告の承認 上半期事業活動報告の承認 上半期決算額報告承認
第39回	2024年3月14日	役員業務執行状況報告の承認 2024年度事業計画書と予算書 事業活動報告



(2) 評議員会の開催

評議員会は下記の内容をもって開催した。

第21回 2023年6月22日 理事・代表理事辞任の承認  
事業報告書・決算書の承認

以上